

# 自己点検・自己評価報告書

(専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版)

平成30年3月31日現在

彰栄リハビリテーション専門学校

平成30年5月18日作成

# 目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	21
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	22
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	23
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談.....	24
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活.....	25
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	26
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	27
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	28
2-6 意思決定システム.....	9	6-22 施設・設備等.....	29
2-7 情報システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	30
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	31
3-8 目標の設定.....	12	基準7 学生の募集と受入れ.....	32
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	33
3-10 成績評価・単位認定等.....	14	7-26 入学選考.....	34
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	15	7-27 学納金.....	35
3-12 教員・教員組織.....	16	基準8 財務.....	36
基準4 学修成果.....	17	8-28 財務基盤.....	37
4-13 就職率.....	18	8-29 予算・収支計画.....	38
4-14 資格・免許の取得率.....	19	8-30 監査.....	39
4-15 卒業生の社会的評価.....	20	8-31 財務情報の公開.....	40

<b>基準 9 法令等の遵守</b> .....	<b>41</b>
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	42
9-33 個人情報保護.....	43
9-34 学校評価.....	44
9-35 教育情報の公開.....	45
<b>基準 10 社会貢献・地域貢献</b> .....	<b>46</b>
10-36 社会貢献・地域貢献.....	47
10-37 ボランティア活動.....	48

## 教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	平成29年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>医療人の教育には、人間教育と専門教育をバランスよく行うことが肝要である。本校においては、122年の歴史を有する彰栄学園のキリスト教を基盤とした建学の理念、すなわち「愛と奉仕」の精神を涵養し、医療人に相応しい人格の陶冶を目指した人間教育を行う。専門教育においては、卒業後直ちに現場で実践的に役立ち、かつ時代の変化に対応できる柔軟性を備えた作業療法士の育成を目指すとともに、リハビリテーションに関心を持つ社会人、大学新卒及び短大新卒の入学を特に歓迎し、その新たな職業能力の開発にも力を入れる。</p> <p>この目的を果たすために、常に教育内容の充実に配慮し、教員の教育能力の向上と施設及び設備の環境整備を図る。また、臨床実習の重要性を鑑み、本校の教育理念を理解し、協力してもらえる実習施設の開拓にも努力する。</p>	<p><b>【コアカリキュラムの設定と到達目標の設定】</b> 各学年で行う授業の中でも、作業療法学の基盤となる科目をコアカリキュラムに指定し、その学習に具体的な目標を掲げる。これにより、多科目を学習するため生ずる学生の混乱を防ぎ、より効果的な教育を目指す。</p> <p><b>【新生生の学習能力向上のための演習の充実】</b> 本校では各学年に作業療法演習の授業を設定しているが、1年次の演習において、今後の学習基盤となる日本語の読解力と表現力の向上とともに、「勉強の仕方」を習得させるため様々な工夫を凝らしてきた。本年度も引き続きその充実を図る。</p> <p><b>【臨床実習の充実】</b> 臨床実習には、学校と実習指導者との意思の疎通が最も大切である。実習指導者会議において、本校の教育方針をより明確に説明し、出来るだけの意思の疎通を図る努力をする。</p>	<p>目標は出来るだけ具体的に設定し、その到達度を各学年の後期の演習授業で評価し、担任が学生指導の際の資料とした。自ら考えることに慣れない学生にとっては、大まかな道案内としての効果は認められる。到達度の判定方法については、更なる検討を要する。</p> <p>1年次の作業療法演習では、天声人語（朝日新聞）の書き写し、題名つけ及び討論等を通じ、文章の基本を学習させた。また、国家試験を意識したノートの取り方を教授している。その効果については、手ごたえを感じている。</p> <p>指導者会議を開催し、出来る限り詳しく学校の教育方針を指導者に説明し、協力を依頼した。問題が生じた場合は、出来るだけ早く教員が介入し、学生、指導者及び学校の意思の疎通を図るよう努めている。</p>	<p>コアカリキュラム設定の趣旨をよく理解させることが肝要で、コアカリキュラム以外の科目を軽視することにならぬよう注意する必要がある。そこで、到達目標に関する確認試験を、前期終了時及び後期終了時に実施している。</p> <p>6年前から行っているこの授業を、平成27年度に総合評価を行い、彰栄表現研究所の研究紀要として発表した。現時点では、当面継続及び強化すべき項目であると考えている。</p> <p>現時点で、臨床実習が校外施設の事情に依存している面が多い。より効果的な臨床実習を目指すには、今後とも実習先施設の事情を理解した上で、随時話し合いが必要であると考えている。学生にとって最もストレスの多いこの科目の改善に不断の努力が必要である。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の理念・目的・育成人材像は、学則などで明確に定めており、学校案内及び学生便覧などにわかりやすく具体的に示し、更に学校行事をとおして周知徹底するよう努めている。学外への公表は、主にホームページで行っているが、必要な情報を確認及び整理するなど掲載に際して工夫しており比較的好評である。今後もコンテンツの充実を図っていく。</p> <p>また、作業療法学科昼間部及び作業療法学科夜間部では、東京都より指定された作業療法士養成課程を設置し、国家資格取得のための指定科目を中心にカリキュラムを編成しているが、専修学校教育の特色と本校の理念・目的・育成人材像を強くアピールしていきたい。</p> <p>なお、昭和時代終盤に少子高齢化社会が到来すると叫ばれ、いよいよ現実となり、高齢者の増加により福祉施設やリハビリ関連病院において、特に作業療法士が人材不足となっている。</p> <p>本校は、社会から期待される人材養成を担っているが、本校自ら仕事の魅力や内容を伝えているかと考えれば十分とは言えない。学校関係者評価委員会及び臨床実習施設からの意見を参考に本校の中期的な構想の中で、周知方法の検討及び推進を図りたい。</p>	<p>本校の教育理念</p> <p>本校は、1896年アメリカから派遣されたキリスト教女性宣教師ジェネヴィーブ・タッピングにより創設され、122年の歴史を有し、建学の精神を「愛と奉仕」とし、キリスト教を基盤とした教育を行い知識及び技術と心の調和のとれた人材養成を目指している。</p> <p>作業療法士については、2004年度から養成を始め、多くの卒業生がリハビリテーションの職場で活躍し、高い評価を得ている。</p> <p>本校の具体的な教育方法は、入学試験の段階から目的意識・望まれる適性を考えさせ、入学後も担任及び臨床実習を含む科目担当教員、さらに就職指導担当教員に至るまで徹底した個別指導を行っている。</p> <p>また、建学の精神を堅持するため、入学式・新入生研修会・1年次のチャペルアワー・創立記念礼拝・クリスマス礼拝・卒業式など、各種行事の中で本校の教育理念・目的・育成人材像の理想が、学生一人ひとりの心に刻まれるように努力をしている。</p>

最終更新日付

平成30年5月18日

記載責任者

山下 輝彦

## 1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	学校運営及び教育活動の基本となるものなので明確にし、学内外等へ周知徹底することが重要である。	理念・目的・育成人材像とも学校案内及び学則等で、わかりやすい表現で明確に示している。	特になし	学則 学校案内 学生便覧
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	育成人材像は、社会環境に応じて変化するため、現状について常に人材ニーズに適合しているか見直しを図る必要性を認識している。	東京都の養成カリキュラム変更に即応するとともに、臨床実習施設と連携し内容の充実を図っている。また、学校関係者評価委員会等において、更なる充実を図る。	作業療法士の仕事内容及び魅力について、学生がしっかり理解できるように、更なる充実が必要である。	学則 学生便覧 臨床実習評価表
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	理念等を達成するために、学事日程及びカリキュラム編成など、特色ある教育活動に取り組む必要がある。	学事日程及びカリキュラム編成については、教員会で検討し可能な限り迅速に改訂を行っている。	特になし	学則 学事日程表 学生便覧 教員会議事録
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	少子高齢社会に期待される人材養成を継続して行うため学校形態について検討するとともに、教育課程や施設設備の充実が必要である。これらを課題とすることが、将来構想に繋がると考える。	教育課程や施設設備の充実については、将来構想も含め模索している。	本校において、課題を整理検討している。 その上で、理事会及び評議員会に報告し、将来構想を描く必要がある。	事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理念・目的・育成人材像は、学校案内・学則・ホームページ等にわかりやすく示し、日頃の教育活動や保護者との懇談会においても丁寧に説明していることから、周知徹底されているものとする。</p> <p>カリキュラム編成においても、東京都の養成カリキュラム変更に即応するとともに、臨床実習施設と連携し内容の充実を図っている。</p>	本校の建学の精神である「愛と奉仕」は、創立以来変わらぬ理念として堅持している。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 2 学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>一世紀を超える学校運営の実績や建学の精神に基づき、学校をとりまく教育環境等の変化に対応するため、理事会及び評議員会で運営方針及び事業計画を作成している。また、各委員会等の体制の刷新を行い、より効率的な運営及び入学定員の継続的な確保等を図っている。</p> <p>運営方針及び事業計画の達成には、教職員の連携と協力が不可欠なため、各法令等に定められた基準を遵守しつつ、適格な人材の確保と処遇及び賃金体系の整備のため、諸規程の見直し等を行っている。</p> <p>学校運営の方針に従い、定期的に行う学内の各会議で、情報の分析及び判断等を系統的に議論している。また、情報システムもネットワーク構成等を考慮して、現在の学生管理システムの更新等を行い、データの一元管理を図る。</p>	<p>各学校をとりまく環境がめまぐるしく変化する中で、伝統と実績だけでなく、実情に対応した学校運営を図り、組織的な対応をしてきているが、整備が間に合っていない部分がある。諸規程及び情報システム等を見直し、社会に求められる人材養成の学校として取組む必要がある。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	学校の教育理念に基づき、理事会及び評議員会において実情に合わせた運営方針を定め、各委員会及び教職員で連携して目標達成を図る。	理事会及び評議員会で意思決定された運営方針を基に、各委員会及び教職員で連携して、作業療法の即戦力となる人材養成に努めている。	特になし	学校案内

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理事会及び評議員会で意思決定された運営方針が、年度当初に理事長から教職員に周知され、各委員会等で協議・報告し、連携して目標達成に取り組んでいる。</p> <p>実情の変化に対応する体制整備を優先しており、各種諸規程全ての整備までには至っていないが、改正を進めている。</p>	<p>平成26年度の法改正により、人材支援における専門実践教育訓練給付金制度が開始され、社会人を含めた幅広い年齢層の学生を確保している。今年度専門実践教育訓練給付金制度の再指定申請を行い、再指定された。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------



## 2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	学校の教育理念に基づき、理事会及び評議員会において毎年度事業計画を定め、各委員会及び教職員で連携して目標達成を図る。	毎年度、事業計画を作成し、文書化している。	特になし	事業計画書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の運営方針を反映した事業計画は、毎年度作成されており、各部門では目標を達成すべく必要な手立てを講じている。	学校をとりまく環境が、めまぐるしく変化する中で、中長期計画については、期間を区切った上で見直し等の検討を行っている。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	理事会及び評議員会は、寄附行為に基づき適正な運営を目指す。	理事会及び評議員会を定期的に開催するだけでなく、緊急の課題には臨時会議で対応する等、実情に応じて効率的に運営し目標達成を図っている。	特になし	
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	組織が明確化され、それぞれが業務分掌に従い学校運営を行っている。	理事会決議を受けて、各部門に伝達され、実施に移す仕組みとなっている。	特になし	学校法人彰栄学園組織表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会、評議員会、教員会及び各委員会等の意思決定機能が、効率的に運営されている。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<p>人事に関する制度は、実施されていない。導入の可否については、慎重に検討されるべきである。</p> <p>給与に関する制度は、規程の定めにより公正に支給されるべきである。</p>	<p>給与規程別表給与表により、専門学校教員及び事務職員毎の等級が定められており、公正に支給されている。</p>	<p>人事の評価結果が、ダイレクトに昇格賃金及び異動等に反映されるものなので、諸規程の見直し等が優先となる。</p> <p>中途採用者の給与査定が、本人に不利にならないように、客観的な基準による前歴換算を行うことが、今後の課題である。</p>	給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令及び諸規程に則り、適正な学校運営のため賃金及び処遇の制度を整備し、必要な人材の確保と把握に努めているが、見直しが必要なことも認識しているため、早急に検討を図る。</p>	<p>学校運営に関わる部門と、教育に関わる部門の意思疎通を、より円滑にする方法等を検討する。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	毎年様々な情報を蓄積し、分析されたデータを運営及び教育に関わる意思決定に活用することが重要である。	定期的に行っている理事会、評議員会及び教員会で、各組織の権限において議論し、意思決定に至っている。	意思決定には、臨機応変の決定を速やかに行うことが、今後の課題である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは概ね確立されており、所定のプロセスにより意思決定されている。臨機応変の決定を速やかに行うことが、今後の課題である。	学校運営に関わる部門と、教育に関わる部門の意思疎通を、より円滑にする方法等を検討する。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	独立した経理システム及び入学試験・教務・就職管理システムを導入して、業務の効率化を図る。	学生管理システム等の見直しを図り、データを一元化して有効に活用する。	法令等の改正による経営環境及び学則変更等が必要なため、随時システムを調整及びリニューアルをしているが、インターネット活用等、なお一層の効率化を目指すことが課題である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生データを一元管理して業務の効率化を進めているが、インターネット活用を含めた情報システム環境への対応が求められる。</p> <p>経理システムは、セキュリティを考慮して独立したネットワークを構築し、安全性を高めている。</p>	<p>情報システム環境の変化に対応するシステムについて、新たなシステムを導入するかの検討を行っていく。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 3 教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念に基づき、人材育成の目的を学生便覧に示し、東京都が指定基準等で定める指定科目をカリキュラムに組み込んでいく。</p> <p>基本的には、理学療法士及び作業療法士養成施設指定規則等に規定された指定科目で編成を行っている。また、教育課程編成委員会、臨床実習先及び就職先からの意見も考慮し、適切なカリキュラム編成に取り組んでいる。</p> <p>指定基準等の規定に基づき適正な位置付けを行い、各科目とも授業の内容や進め方をシラバスにわかりやすく学生に示している。</p> <p>臨床実習指導及び就職オリエンテーションの中で、学生が将来展望できるようキャリア教育を行っている。</p> <p>学生による授業評価と、学校として授業内容の把握及び評価の両面から、授業の質を向上させるための改善を図る。</p> <p>専任教員資格内規及び非常勤講師に関する規程に基づき、目標に向けた授業を行える教員を確保し、国家資格養成校の全国団体等主催のセミナーや研修に参加して、スキルアップを図る。</p> <p>卒業と同時に国家試験受験資格が取得となるため、国家試験担当教員が個別に対応し国家試験合格に向け、適宜学生のサポートを行っている。</p>	<p>職業教育は勿論のこと、建学の精神である「愛と奉仕」を基盤にした教育を行い、知識、技術及び心の調和のとれた人材育成の教育を行っている。</p> <p>平成32年度よりカリキュラムが大幅に変更となるため、変更承認申請に向けて準備を進めていく。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 3-8 目標の設定

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に基づき、教育課程の編成方針、実施方針を定めることが重要である。	学生便覧に、教育目的及び人材育成の目的を示している。作業療法特論及び作業療法演習といった本校独自の授業科目も取り入れている。	教員への負担が増加傾向にあることが、今後の課題である。	学生便覧
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	東京都の作業療法士養成指定科目を中心に、カリキュラム編成していくことが重要と考える。	東京都が指定基準等で定める指定科目をカリキュラムに組み込んでいるとともに、教育内容はシラバスで明確に示している。	今年度より、前期及び後期終了時に、到達度確認試験を行っている。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念に基づき、人材育成の目的を学生便覧に示している。東京都が指定基準等で定める指定科目をカリキュラムに組み込んでいるとともに、教育内容はシラバスで明確に示している。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 3-9 教育方法・評価等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	東京都の作業療法士養成カリキュラムに沿って、科目の編成を行っていくことが重要と考える。	理学療法士及び作業療法士養成施設指定規則等に規定された、指定科目で編成を行っている。	特になし	シラバス
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	東京都の作業療法士養成カリキュラムに留意しつつ、教育課程編成委員会、臨床実習先及び就職先からの意見も考慮することが重要と考える。	教育課程編成委員会での意見及び臨床実習先や就職先の施設長等の意見を基に必要であれば適宜検討し、教員会で決定している。	特になし	教員会議事録 教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	各種行事やオリエンテーション等を含む教育課程の中で、将来のキャリアアップを含めた教育を行うことが重要である。	臨床実習指導及び就職オリエンテーションの中で、学生が将来展望できるよう情報提供や相談等を行っている。	特になし	
3-9-4 授業評価を実施しているか	教員及び学生による授業評価については、授業の質を向上するためにも行うことが重要と考える。	専任教員については授業評価を行い、授業内容について分析を行うとともに、次年度の向け改善を行っている。	現在専任教員のみ実施しているため、次年度以降は兼任教員についても検討する必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理学療法士及び作業療法士養成施設指定規則等に規定された、指定科目で編成を行っている。また、教育課程編成委員会、臨床実習先及び就職先からの意見も考慮し、計画的にカリキュラム編成に取り組んでいる。学生による授業評価と学校として授業内容の把握及び評価の両面から、授業の質を向上させるための改善を図る。	職業教育は勿論のこと、建学の精神である「愛と奉仕」を基盤とした教育を行い、知識、技術及び心の調和のとれた人材育成の教育を行っている。

最終更新日付

平成30年5月18日

記載責任者

山下 輝彦



## 3-10 成績評価・単位認定等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に成績評価について明示し、基準を明確にすることが重要と考える。	学生便覧に成績評価方法等について明示し、科目担当教員からの成績報告を成績判定会議に諮り決定をしている。	特になし	学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	シラバスに作品及び技術等の発表における成果の把握を明示し、基準を明確にすることが重要と考える。	シラバスに成果の把握方法等について明示し、科目担当教員から成果の把握も含めた成績の報告を受けている。	特になし	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生便覧及びシラバスに、成績評価、単位認定及び成果の把握について明示し、基準を明確にしている。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 3-11 資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	学生便覧及びシラバスに掲載するとともに、学生に周知することが重要である。	卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格が取得できる。この内容は、学生便覧に掲載するとともに、新入生オリエンテーション等でも徹底している。	特になし	学生便覧
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格が取得となるため、国家試験合格に向けて徹底した指導体制が重要である。	国家試験担当教員が、グループ別及び個別に対応し、国家試験合格に向け、適宜学生の指導を行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格が取得となるため、国家試験担当教員が、グループ別及び個別に対応し、国家試験合格に向け、適宜学生の指導を行っている。また、学生便覧に掲載するとともに、新入生オリエンテーション等でも徹底している。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 3-12 教員・教員組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	東京都より示された教員の資格要件に基づき、教員を確保する。	専任教員資格内規及び兼任教員に関する規程に基づき、目標に向けた授業を行うことのできる教員を確保している。また、図書室に司書を配置し、専門性や教授力向上を図る資料等を確保している。	一部専任教員が不足していたため、新たに採用する予定である。	専任教員資格内規 兼任教員に関する規程
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	教員の資質向上は重要であり、研修を中心に活用している。	法人が設置する彰栄表現研究所において、教員間の共同研究を促進し、研究所紀要を発表している。その他、資格養成校全国団体等主催の研修会へ参加し、資質向上に努めている。	「新しい学校種」の誕生に向けての教員の資質向上は、一段と力を注ぐ予定である。	彰栄表現研究所研究紀要
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	専任教員及び兼任教員を含め、学習指導及び学生情報を共有して学生指導を行う組織体制が重要である。	年度当初に開催される教員懇談会の際に、専任教員及び兼任教員間で、各情報を共有して目標との整合について確認を行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専任教員資格内規及び兼任教員に関する規程に基づき、目標に向けた授業を行える教員を確保し、資格養成校全国団体等主催の研修会へ参加して、スキルアップを図っている。	一部専任教員が不足していたため、新たに採用する予定である。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 4 学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職率の向上については、教員会で学生の就職情報を共有することにより、一人ひとりの就職希望を把握して、求人に対応できる体制を整え指導を行っている。</p> <p>卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格を取得のため、国家試験に合格しなければ内定取り消しとなることから、国家試験担当教員を中心に合格へ向けた指導も徹底して行っている。</p> <p>担任を中心に就職を目指して徹底した学習や生活指導を行うとともに、退学者の低減を図っている。</p>	<p>卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格を取得のため、国家試験担当教員を中心に、1年次から国家試験合格に向けた指導を徹底して行っている。</p> <p>1年次には主に基礎学力の底上げを中心に指導を行い、2年次には専門基礎分野（体の仕組みが中心）の理解力を中心に指導を行い、3年次には国家試験合格へ向けた過去問題10年間分の分析を中心に指導を行っている。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 4-13 就職率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	担任を中心として、学生一人ひとりの就職希望を把握し、求人に対応できる体制を整え指導を行い、就職率100%を目標としている。	本校開校以来の就職率は、100%となっている。担任を中心に、就職活動状況を把握し、学生へ個別に指導を行っている。	就職説明会を年2回程度開催しているが、開催時期及び回数を再度検討する必要がある。	就職内定状況一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員会にて学生の就職情報を共有することにより、学生一人ひとりの就職希望を把握して、求人に対応できる体制を整え指導を行っている。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 4-14 資格・免許の取得率

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験担当教員を中心として、学生一人ひとりの学力を把握し、グループ別及び個別での指導体制を整え、合格率100%を目標としている。	国家試験担当教員が、グループ別及び個別に指導を行っている。特に、専門基礎分野を中心に、弱点部分の勉強方法の指導に力を入れている。	合格率100%を目標としているが、達成されていない。伸び悩みの学生を含め、どのような指導で底上げをしていくかが課題である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>国家試験担当教員が、グループ別及び個別に指導を行っている。特に、専門基礎分野を中心に、弱点部分の勉強方法の指導に力を入れている。</p> <p>合格率100%を目標としているが達成されていないため、伸び悩みの学生を含め、どのような指導で底上げをしていくかが課題である。</p>	

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 4-15 卒業生の社会的評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	就職した卒業生等に対して社会的活躍等の情報を収集していくことが重要であると考ええる。	臨床実習先での懇談や卒業生との面談により、情報収集をしている。 同窓会総会の開催時や学校訪問の卒業生に対して、その活躍等の把握に努めている。	卒業生に対する就職先への就業状況等の調査は行っていないため、評価等はデータとして把握できていない。 今後は、就業状況調査等の実施について検討を行う。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床実習先での懇談や卒業生との面談により、情報収集をしている。 同窓会総会の開催時や学校訪問の卒業生に対して、その活躍等の把握に努めている。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準5 学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>就職に関する体制としては、就職相談室を設け、求人票等の学生が必要な情報を提供できるよう体制を整えている。また、学生が希望どおりの就職ができるよう細やかな指導を実施している。</p> <p>学生相談に関する体制については、クラス担任制になっており各担任が個別に対応している。</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制については、日本学生支援機構及び東京都育英資金等の一般奨学金を掲示板に掲載し、学生に周知している。</p> <p>学生寮は、遠隔地出身者の入学希望者が少ないため、完備していない。希望者に対しては、学生会館等の資料配布や検索サイトを紹介している。</p> <p>保護者との適切な連携の重要度は、年々増加している。毎年6月末に保護者会を実施。クラス担任と懇談を行って情報交換し、電話連絡も含め保護者との連携を図っている。</p> <p>卒業生への支援体制は、同窓会総会の開催を通して、卒業生相互の交流や情報交換を行っている。</p>	<p>就職担当教員を中心に、履歴書の書き方及び面接の指導を細かく行っている。</p> <p>独自に彰栄奨学金制度を創設し、経済状況が急変した学生への支援を行っている。また、入学手続き費用の分納及び学費の月払い制度で費用負担軽減を図っており、本校ホームページに掲載及び各イベントでの説明により周知している。</p> <p>彰栄表現研究所を設立し、表現に関する共同研究、講演会及び公開講座等を行い、卒業生や研究員だけではなく地域住民との意見交換や情報交換の場としても機能している。</p> <p>多種の悩みを抱える学生が増加していることから、相談員制度の導入を検討中である。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------



## 5-16 就職等進路

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職相談室を設け、求人票等の学生が必要な情報が提供できるよう体制を整える。	就職担当教員を中心に、履歴書の書き方及び面接の指導を細かく行っている。また、就職説明会を年2回程度開催している。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職に関する体制としては、就職相談室を設け、求人票等の学生が必要な情報を提供できるよう体制を整えている。また、学生が希望どおりの就職ができるよう細やかな指導を実施している。	就職担当教員を中心に、履歴書の書き方及び面接の指導を細かく行っている。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 5-17 中途退学への対応

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	クラス担任を中心に、就職を目指して徹底した学習や生活指導を行い、可能な限り退学者を低減させることが重要であると考えます。	クラス担任制となっているので、適宜学生からの相談を受けて対応している。また、保護者からの相談についても、必要に応じて対応している。	年に5%程度の学生が、退学している。今後は、学生の質も上がってきているため、3%以内となるように、きめ細かい対応をしていきたい。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
クラス担任を中心に、就職を目指して徹底した学習や生活指導を行い、退学者の低減を図っている。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 5-18 学生相談

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	クラス担任制になっており、担任が中心に対応するが、必要に応じて教職員が適宜対応する。	クラス担任が、個別に対応している。また、必要に応じて教員会で協議している。	特になし	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	グローバル化が進み昨今、留学生への対応体制も整備していく。	現在、留学生は在籍していないが、留学生担当職員研修会等へ参加し、対応を整備している。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談に関する体制は、クラス担任制となっており、担任が個別に対応している。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	一般奨学金及び独自の彰栄奨学金を周知し、学生への支援を行う。また、学費の月払い制度等により費用負担軽減を図る。	各種奨学金を掲示板に掲載し、周知している。申込説明会を実施し、支援を行っている。費用負担軽減については、本校ホームページに掲載及び各イベントでの説明にて周知を図っている。	特になし	各種奨学金一覧表 学費の月払い制度資料
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学校保健安全法に基づき、計画に沿って健康診断を行う。	全学生が年に1回健康診断を実施して、学生の健康状況を把握し、健康管理に努めている。	特になし	健康診断実施者名簿
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の問合せ時に、学生会館等の資料を配布し、紹介を行う。	学生会館等の資料を、閲覧可能なところに設置している。	特になし	学生会館パンフレット
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	部活動及び同好会活動については、学生学友会の承認を得て活動を支援する。	部活動補助金については、学友会で検討し学友会総会承認後、交付している。	特になし	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の経済的側面に対する支援体制については、各種奨学金等を掲示板に掲載し、学生に周知している。学生の健康管理を行う体制については、健康診断を実施して健康状況を把握している。学生寮については、希望者に学生会館等の資料配布により紹介している。	独自に彰栄奨学金制度を創設し、経済状況が急変した学生への支援を行っている。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 5-20 保護者との連携

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者との連携体制は、学生が学校生活をおくる上で、欠かせない重要なことと考える。	毎年6月末に保護者の代表者による総会を実施し、その後保護者会を行い、担任との懇談を開催している。また、電話連絡での連携を適宜行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との適切な連携は、年々重要度が増している。毎年6月末に保護者会を実施。クラス担任と懇談を行い情報交換し、保護者との連携を図っている。また、電話連絡での連携を適宜行っている。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 5-21 卒業生・社会人

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	卒業生への支援体制については、組織的に整備し機能させていく。	同窓会以外に、彰栄表現研究所を1998年に設立し、その活動の一つに卒業生を主体とする研修会があり、講座を開催することにより、卒業生相互の親睦を図っている。	特になし	彰栄表現研究所紀要
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	産学連携による卒業後の再教育については、生涯学習が必要である医療分野においては重要なことと考える。	同窓会及び彰栄表現研究所が連携して、再教育プログラムが実施できないかを検討していく予定である。	特になし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人の転職率が年々増加しており、社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備は重要なことと考える。	大学・短大時代の既修得単位の認定及び専門実践教育訓練給付金制度の利用等により、社会人入学者が年々増加している。更に、社会人のニーズに対応できるよう検討している。	専門実践教育訓練給付金制度については、今年度再指定申請を行い、再指定された。	専門実践教育訓練給付金リーフレット

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生への支援体制については、同窓会総会の開催を通して卒業生相互の交流や情報交換の場として行っている。大学・短大時代の既修得単位の認定及び専門実践教育訓練給付金制度の利用等により、社会人入学者が年々増加している。	彰栄表現研究所を設立し、表現に関する内容の共同研究、講演会及び公開講座等を行い、卒業生や研究員だけではなく地域住民との意見交換や情報交換の場として行っている。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 6 教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設内容については、国が定める基準を十分満たし、計画的に校舎補修・設備メンテナンス等の予算を確保して、快適な学生生活のための環境作りに努めている。また、最新の教育機器の購入や図書の充実に取り組んでいる。</p> <p>臨床見学、臨床実習Ⅰ及び臨床実習Ⅱで合計20週間の学外実習を行い、関係施設等と連携を取りながら臨床実習を進め、教育効果の確認をしている。</p> <p>学生に対し教室等に避難経路を掲示し、周知徹底している。また、教職員が防災訓練を実施し、避難経路確認や避難誘導指示の確認を行っている。</p>	<p>緊急地震速報装置の設置、AEDの設置及び乾パンや水等の非常食の他に、非常用トイレを備蓄して災害発生に備えている。</p> <p>よりきめ細かな緊急時対策マニュアルの作成が、今後の課題でもある。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 6-22 施設・設備等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	施設・設備・教育用具等については、国が定める基準を遵守する。	計画的に施設・設備・教育用具購入費等の予算を確保し、快適な学生生活のための環境作りを行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設・設備・教育用具等については、国が定める基準を十分満たし、計画的に校舎補修・設備メンテナンス等の予算を確保して、快適な学生生活のための環境作りに努めている。また、最新の教育機器の購入や図書の実充に取組んでいる。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------



## 6-23 学外実習、インターンシップ等

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	臨床見学、臨床実習Ⅰ及び臨床実習Ⅱで合計20週間の学外実習を行い、関係施設等と連携を取りながら進めていくことが重要である。	臨床実習として合計20週間(900時間)を、関係施設等と連携を取りながら進めている。	特になし	

中項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
臨床見学、臨床実習Ⅰ及び臨床実習Ⅱで合計20週間の学外実習を行い、関係施設等と連携を取りながら臨床実習を進め、教育効果の確認をしている。	臨床実習は、コミュニケーション能力及び知識を同時にチェックされる場であり、学生にとってストレスが多い科目となっている。よって、臨床実習指導者との意志の疎通が極めて大切である。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	災害発生時における対応や方法は、防火管理者を中心に体制を整備することが重要と考える。	防火管理者や火元責任者を中心に、体制を整備している。	組織的な体制が十分とは言えないため、今後整備を進める必要がある。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	災害等に備え、防災訓練を実施することが重要と考える。	学生に対し教室等に避難経路を掲示し、周知徹底している。また、教職員は防災訓練を実施し、避難経路確認や避難誘導指示の確認を行っている。	全学生対象の防災訓練を実施するのは難しい状況ではあるが、今後は実施に向けて検討する必要がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生に対し教室等に避難経路を掲示し、周知徹底している。また、教職員は防災訓練を実施し、避難経路確認や避難誘導指示の確認を行っている。	緊急地震速報装置の設置、AEDの設置及び乾パンや水等の非常食の他に、非常用トイレを備蓄して、災害発生に備えている。よりきめ細かな緊急時対策マニュアルの作成が、今後の課題でもある。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 7 学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生募集活動については、長い伝統と実績を基に、専門学校間の確認事項を踏まえ、志望者の立場及び実情を考慮して適正に行うとともに、本校の情報と卒業生等の教育効果をわかりやすく工夫して、各媒体で正確に伝えることで、学生募集と高い就職率に繋がっている。</p> <p>また、各媒体からの反応は、年度毎にデータを集積及び比較して活用している。</p> <p>入学選考及び学納金については、学則及び学生募集要項で手続方法等を規定し、教員会で教職員間の意思統一を図って対応している。</p> <p>選考情報等は継続的に記録し、経営判断及び学生募集に活用するとともに、卒業生の情報提供等の協力を受け、即戦力となる人材養成を図っている。</p>	<p>専門学校では、学納金が学校運営の基本となるため、確実な納入手段を図っているが、学生の実情を考慮した対応を行う。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	高等学校等接続する教育機関については、教育活動、就職実績及び支援体制等を適格に情報提供することが重要と考える。	高校等には主に代理店主催の高校ガイダンスを通して、教育活動、就職実績及び支援体制等の情報提供に努めている。	特になし	学校案内 学生募集要項
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	学校案内、ホームページ及びイベント等を通して、学校の適正な情報及び入学志願者の役に立つ情報を適切に伝えることが重要と考える。	学校案内は勿論であるが、インターネット社会に対応するため、ホームページでの適切な情報提供に最大の力を注いでいる。	特になし	学校案内 学生募集要項 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高校等には主に高校ガイダンスを通して、教育活動、就職実績及び支援体制等の情報提供に努めている。学生募集活動については、学校案内は勿論であるが、インターネット社会に対応するため、ホームページでの適切な情報提供に最大の力を注いでいる。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準は、学則及び学生募集要項で定め、適正かつ公平に実施する。	教員会で選考方法について審議し、入学選考当日にも担当教員が事前に会議を行い、選考基準を確認して試験を実施している。	特になし	学則 学生募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考に関する実績は、教員会で報告し把握する。また、必要に応じて授業改善等に活用することが重要と考える。	入学選考に関する実績は、教員会で報告し把握している。また、実績を基に必要に応じて授業改善等に活用することを検討している。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は、適正かつ公平に行うことを重要視し、教職員が意識を共有のうえ連携して実施している。また、毎年情報を記録することで、次年度の入学選考に活用している。入学選考に関する実績は、教員会で報告し把握している。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	経費内容を確認のうえ、学納金を算定して、学生が充実した学生生活をおくるために、妥当な水準とする。	経費内容を確認のうえ、学生が充実した学生生活をおくるために、妥当な水準にて学納金を算定している。	特になし	
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	文部科学省及び全国専門学校各種学校総連合会からの取り扱いに則り、学則等で定め適正に処理する。	学則に規定された手続きにより、適正に処理している。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容を確認のうえ、学生が充実した学生生活をおくるために、妥当な水準にて学納金を算定している。入学辞退者に対しては、学則に規定された手続きにより、適正に処理している。	専門学校は、原則として学納金が収入の全てであるため、常に適正な金額を把握する。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 8 財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>財務状況については、本法人が運営する彰栄リハビリテーション専門学校、彰栄保育福祉専門学校及び彰栄幼稚園の3部門を合算した財務資料の評価となる。</p> <p>各専門学校の目的は、少子高齢社会を支える作業療法士、幼稚園教諭、保育士及び介護福祉士の養成であり、それぞれが人材不足と叫ばれ、その確保は国の重点政策でもあることから、社会的注目度が高い分野でもある。</p> <p>幼稚園においても、「子ども子育て支援新制度」が始まり、子育て支援施設として期待されている。</p> <p>このような状況の中でも、少子化や養成校の乱立による学生募集の厳しさ、教職員人件費の増加及び施設設備更新経費の負担を考えれば、安心することはできない。</p> <p>近年において、単年度会計の範囲内で危険箇所を優先しながら、老朽箇所の改修及び教育機器・教材・図書の購入を積極的に行い、後年に負担が残らぬよう配慮している。</p>	<p>私立学校である以上、その教育を支える財務は盤石なことが求められる。本法人は122年の歴史を有し、校名も浸透していることから、多少の増減があるものの、全体として安定した学生総数を確保している。このことから、財務において学生に悪い影響を及ぼすことは、今のところ考えられない。</p> <p>しかし、各学科・幼稚園を詳しく分析すれば問題がないとは言えず、今後の将来計画、財務計画、内部統制及びコンプライアンスを常に重要課題として捉え、改善の努力が必要と考える。</p> <p>本法人は、当然ながら理事会及び評議員会を最高意思決定機関として、執行には理事長、事務局長、経理担当者、外部者として学園監事、会計士、税理士及び弁護士の支援を受けており、今後とも透明性の高い財務運営を心掛けたい。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	財務状況は、理事会、評議員会及び理事長以下執行担当者が把握及び共通理解しており、安定した状況と評価されている。	学生の教育環境向上を維持したうえで、経費削減に努力している。特に人件費比率は、最大関心事項である。	中長期的計画で、教職員の適正人数を再考する必要がある、部門毎に話し合いを進め効率的な運営を目指したい。	資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 財産目録
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	財務数値は、理事長に月報として報告し、理事会及び評議員会には主に予算及び決算時に報告しているが、変化が大きい場合には、その都度連絡している。	財務数値については、会計士及び税理士に助言を仰ぎ、監事の了解を得たうえで、理事会及び評議員会です承している。	財務数値報告とともに、諸資料についても充実させたい。	資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 財産目録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
現在の法人財務基盤は、財務諸表が示すとおり安定していると言える。しかし、中長期的視点で考えると、少子化及び同種学校乱立の影響により不安定となるおそれもある。理事会、評議員会及び理事長が、瞬時に察知し対策が立てられるよう、情報の伝達を怠ってはならないと考える。	本法人の財務状況については、理事会、評議員会、理事長、会計士及び税理士が一致して把握している。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------



## 8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<p>年度予算については、経理担当者が理事長及び各部門担当者とのヒヤリングを行い慎重に作成している。</p> <p>また、教育環境維持向上のため、施設の危険箇所改修や老朽化した設備の更新は、優先して取組んでいる。</p> <p>なお、中期計画については、会計士及び税理士の助言を仰ぎ策定している。</p> <p>決定については、評議員会を経て理事会において行っている。</p>	<p>年度予算作成過程において、各部門に必要な予算を申請させるが、理事長、事務局長及び経理担当者で査定会議を行い、単複年度または中長期予算とするかを決定している。</p> <p>また、学納金、その他の収入、人件費支出、管理経費支出及びその他の支出等、大項目毎に精査し決算と大きな開きが出ないよう心掛けている。</p>	<p>全教職員が、学校運営に資金が必要であり、その結果は予算及び決算書で表されていると認識する必要がある。そのために、法人内にも積極的な情報開示が必要である。</p> <p>教職員は、教育の理想と経費のバランスを考えながら、中長期的な施設設備改修及び教育機器更新の計画をするよう周知したい。</p>	<p>資金収支計算書 事業活動収支計算書 貸借対照表 財産目録</p>
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<p>予算は規程に基づき執行し、会計士、税理士、理事会、評議員会及び監事に報告し、妥当と評価されている。</p>	<p>予算は、理事会及び評議員会において決定され、理事長の指示のもと、適正に執行されている。</p>	<p>予算執行について、システム化を更に図る必要がある。</p>	<p>彰栄学園経理規程</p>

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>予算については、理事長以下学園執行部が作成し、会計士及び税理士の助言を仰ぎ、理事会及び評議員会で決定し経理規程に基づき執行されている。</p> <p>また、中長期計画についても、同様に関係者の理解を得ている。</p>	<p>特になし</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	本法人は、学校教育法に定める一条校であり、会計監査については東京都の指導により適切に行われている。	法人財産の現状を各種帳票類に基づき監事が監査し、理事会及び評議員会に報告している。また、会計士による監査も実施したうえで、決算報告書を東京都に提出している。	監査体制は適切であり、指摘を受けた事項は、速やかに改善している。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本法人は、学校教育法に定める一条校であり、会計監査については東京都の指導により適切に行われている。また、各責任体制も法により明確にされており、スケジュールについても指導されており妥当なものである。	特になし

最終更新日付

平成30年5月18日

記載責任者

山下 輝彦

## 8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	私立学校法に基づく財務情報公開は、彰栄学園情報公開規程により整備される。	事業計画及び報告とともに、ホームページにて公開している。	特になし	彰栄学園情報公開規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
私立学校法に基づく財務情報公開は、彰栄学園情報公開規程により整備され、ホームページにて公開している。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 基準 9 法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>理学療法士及び作業療法士法等の基準を遵守し、学生が卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格を取得する体制を整えている。</p> <p>また、学園の運営に当たっては、教育基本法、学校基本法及び専修学校設置基準を基本として適正な運営を行い、所轄官公庁への申請、報告及び届出を適切に行っている。</p> <p>法令遵守及び個人情報の保護等に関する意義及び重要性については、教職員には年度初めに全教職員が参加する懇親会で、学生には学生便覧及びシラバス等を使用してオリエンテーション時に実施して啓発活動を行っている。</p> <p>自己点検については、理学療法士及び作業療法士法施行令に基づく業務報告を実施し、自己点検及び自己評価を東京都に提出している。</p> <p>なお、本校の自己点検は3年前から実施して、結果を冊子及びホームページ公開にて閲覧が可能となっている。</p>	<p>理学療法士及び作業療法士法施行令に基づく業務報告を、毎年東京都に提出している。</p> <p>3年前より、自己点検及び自己評価を行っており、更なる内容の充実を図っていく。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	学校教育に関わる各種の法令、設置基準、作業療法士指定に関わる法令及び指定規則等を遵守し、適正な学校運営を徹底する。	関係する法令等が多岐に及ぶため、対応が間に合わないことがないように体制を整え対応している。	一部法令を遵守していない項目があったため、次年度より適正な運営を徹底する。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校教育に関わる各種の法令及び基準が多岐に及ぶため、常に適正な運営を徹底し法令遵守の意識を高める。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	学園全体の取り組みとして、個人情報の重要性を十分に認識して、関係する法律の適正な取り扱いに努める。	学生の個人情報等は、保管する場所を限定して、持ち出し等を制限している。 パソコンのデータは、決められたパソコン以外ではシステムを作動できない等の組織的な管理をしている。	個人情報保護に関する学園全体の方針等を、実情に応じて柔軟に対応することが課題である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学園全体で、個人情報の重要性を理解して法令等の遵守に努めているが、個人情報に関わる環境の変化に柔軟に対応することが課題である。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己評価の実施体制を整備し評価を行い、問題点の改善に努める。	自己点検及び自己評価報告書の作成及び公開、資格取得に係わる法令で指定されている自己点検を実施し、課題の改善に努めている。	自己点検及び自己評価だけではなく第三者評価等も含め、学園として組織的及び継続的に改善が図れる体制を整える。	自己点検及び自己評価報告書
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己点検及び自己評価の結果を報告書にまとめ、冊子及びホームページ等の媒体で、公開する。	自己点検及び自己評価の報告は、冊子及びホームページで公開している。	特になし	自己点検及び自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行う。	学校関係者評価が実施できる体制を整備し評価を行った。そのうえで、課題の改善に努めている。	特になし	
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果の公開を行う。	学校関係者評価結果の公開を行った。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己点検及び自己評価を実施し、現在結果を公開している。 また、学校関係者評価が実施できる体制を整え、評価を行い公開している。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	学校の概要及び教育内容だけでなく、文部科学省ガイドラインに従った情報公開を行うことが、重要であると考え	学校の概要及び教育内容については、学校案内及びホームページで公開している。今後は、文部科学省ガイドラインに従った情報公開を行う。	特になし	学校案内 ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要及び教育内容については、学校案内及びホームページで公開している。今後は、文部科学省ガイドラインに従った情報公開を行う。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------



## 基準 10 社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>社会貢献活動では、参加している関連団体の総会及び研修会等で連携及び交流を行い、更に異分野の学校等との交流も行うことで、医療及びリハビリテーション分野の啓蒙活動を展開することができている。</p> <p>学生は、卒業と同時に作業療法士国家試験受験資格を取得のうえ、作業療法士国家試験に合格することを目指しているため、学業を優先せざるを得ないため、残念ながら現状では企業や地域との交流はあまり出来ていない。</p> <p>作業療法学科昼間部は専門実践教育訓練給付金制度指定講座のため、転職して作業療法士を目指す社会人の受け入れに貢献できている。</p>	<p>1998年に設置した彰栄表現研究所が毎年開催している講座等で、地域の方も参加できるようなテーマの設定を検討する。</p> <p>毎年、教職員及び学生からの献金を、日本赤十字社を通して「東日本大震災」等の義援金として、更に国際児童基金、非営利団体のNPO及び各社会福祉法人施設等に送金をしている。</p>

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	校舎及び設備等は、学校行事等の学生に資源を還元することを優先しているため、一般開放は難しい。	学園祭では一般公開を行い、地域の子どもから高齢者まで楽しめる企画を用意して、毎年多くの参加者が来校している。	現状では、校舎及び設備の開放は難しいが、せめて学園祭の魅力を向上させるように工夫する。	
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	資格の取得要件及び就職先の受入環境を考慮すると、現時点ではいずれの外国との協力も難しい。	留学を希望する者については、資格取得に関わる要件等の可否を確認して、入学試験を行っている。	教育及び医療に関わる状況に応じて、対応を検討する。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育資源を活用した社会貢献及び地域貢献については、一般開放は難しいが、せめて学園祭の魅力を向上させるように工夫する。国際交流についても難しい状況であるが、教育及び医療に関わる状況に応じて、対応を検討する。	特になし

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------

## 10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	特に、リハビリテーション分野へのボランティアは、知識や経験を得る良い機会と考えている。募集等があれば、掲示して支援する。	ボランティア先は、主に臨床実習及び就職先が多いため、学生には積極的に参加するように指導を行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
リハビリテーション分野へのボランティアは、知識や経験を得る良い機会と考えている。募集等があれば、掲示して支援する。	臨床実習及び就職先からのボランティア募集が多く、学生には掲示及び担当教員から紹介をしている。

最終更新日付	平成30年5月18日	記載責任者	山下 輝彦
--------	------------	-------	-------